



# 美術手帖

2010.06

vol.62 NO.937

<http://www.bijutsu.co.jp/bss/>

BT

Chim↑Pom

高木こずえ

泉太郎

金氏徹平

坂本夏子

名和晃平

Artists' Manifestos: Voices of the New Decade

## 新世代アーティスト宣言!

2010年代を担う旗手、74人の声を集大成

特別寄稿/黒瀬陽平「カオス・ラウンジとは何か?

座談会: 藪前知子×保坂健二郎×粟田大輔×沢山遼

佐藤玲

快快

喜多順子

千葉正也

山川冬樹

半田真規

田中功起

若木くるみ

六本木クロッシング2010展:  
芸術は可能か?

Artist Interview ダン・グラハム

第937号 2010年6月1日発行 毎月1回1日発行 1949年4月20日創刊 3歳未満児閲覧不可 ISSN0287-2218



Photo by Fuminari Yoshitsugu

## SORAYAMA HAJIME

空山基 [b.1947]

### 不変の本能を描き続ける

⇒P.13

官能的でビザールな女性像や、思わず触れてしまいたくなるような奥行きと量感を備えたメカニック描写で知られる空山基。訪れたスタジオは、彼のイマジネーションが高純度に圧縮された濃密な空間だ。無造作に飾られた傑作の数々にも目を奪われるが、屍体写真、ポルノグラフィ、セックスグッズ、フィギュア、装飾品、ミリタリーグッズ、親交のある作家たちの貴重な原画、そしてディック・ブルーナのミッフィー・グッズの山に、なるほどここから空山の世界は生まれてきたのだと思わず唸られる。

「1978年の『セクシー・ロボット』シリーズが、女性とロボットを合体させた最初。当時周囲からは随分驚かれましたが、僕自身は大した発明だとは思わなかった」。週れば19世紀後半の文学作品や、20世紀初頭のSF映画にも女性型アンドロイドが登場する。女性と機械の

融合は確かに古典的な題材だ。「ただ、それまでの作品はロボットにおっぱいが付いているだけの記号的な描写ばかり。柔らかい脂肪が金属の内側に詰まっているような生身の肉体を、僕がはじめて描いたわけです。もちろん平面ならではの嘘がありますが、広告仕事をずっとやってきて、僕の嘘のつき方は手練だった」。

アートも広告もコミュニケーションであり、直裁に人に伝わらなければ意味はないと空山は語る。「だから、性欲や暴力という普遍的な本能を描いてきた。人間の歴史のなかで、寛容や博愛の概念が発見されたのはほんの100年か200年。むしろ歴史の徒花だと考えるべきだと思う」。間もなく始まる個展は、空山の活動を概観できる絶好の機会。圧倒的な描写力と本能の衝動から生まれた孤高のアートワークに、ただ驚愕せよ。